

2026

No.83

## 山本左近 NEWS

令和8年 1月 14日 発行所：山本左近政策研究会

〒440-0806愛知県豊橋市八町通1丁目14-1 Tel. 0532-21-7008 Fax. 0532-21-7003

No.83

## 山本左近の決意・未来をつくり信頼される政治へ

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

## 《なぜ政治家を志したか？》

私はF1ドライバーとして世界を舞台に戦い、日本人としての誇りを胸に挑戦を続けてきました。その経験を通じて強く感じたのは、日本には今も世界で戦える力があるということです。技術力、現場の知恵、責任感、それらは日本の大きな財産です。しかし政治の側がそれを十分に引き出し切れていない。その現実を変えたいという思いで、私は政治の道に進みました。

## 《衆議院議員時代の取り組み》

衆議院議員としての1期3年の間、**文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官**も務め、科学技術、エネルギー、スポーツや文化・コンテンツ産業といった国の競争力の源泉に取り組んできました。

水素とCO<sub>2</sub>からつくる

## 「合成燃料」の国内製造を実現し、1日約160リットルを生産できる実証プラントを

稼働させたことは、エネルギー安全保障と脱炭素を同時に進める日本の新しい道を示しました。また、SPRING-8（スプリング8）の高度化や、文化庁による100億円基金の創設を通じて、日本の科学とコンテンツを世界へとつなぐ基盤づくりにも力を注ぎました。

## 《信頼の回復が必要》

同時に、いま日本の政治に最も問われているのは「信頼」です。政治資金の不記載などの問題によって、多くの国民が政治に不信感を抱いています。

どれほど立派な政策を掲げていても、政治そのものが疑われていては、前に進むことはできません。私は、政治資金の透明化とルールの厳格化を徹底し、「疑われない政治」「説明できる政治」を実現することが、改革の大前提だと考えています。クリーンであることは、政治家としての最

低条件であり、日本の民主主義を守る基盤です。

## 《私が目指す未来》

私の原点は、豊橋・田原にあります。農業、ものづくり、港湾、エネルギー、この地域には、日本の底力が凝縮されています。道路や港湾、通信などのインフラ整備、防災・国土強靱化、産業の競争力強化を通じて、この地から日本の成長を押し上げていくことが、私の使命です。

## 《ジャパナスナンバー1アゲイン！》

挑戦を恐れず、結果に責任を持つ。F1で培ったその姿勢を、これからも政治の世界で貫きます。

日本が再び世界から信頼され、尊敬される国となるよう、そして政治そのものが信頼を取り戻すよう、私はこの地から全力で取り組み続けます。

前衆議院議員

山本左近

《やまもと・さこん》

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙に自民党比例代表で2期目に立候補するも落選し現在に至る英語、スペイン語を話すマルチリンガル。







いまの政治に、希望を感じられていますか。  
物価高、将来不安、地域の衰退、多くの方が「このままでいいのか」と感じています。

私は、この国をもう一度「挑戦できる日本」に取り戻したい。  
その実現に向けた具体的な行動指針が、次の10の戦略です。

## 挑戦する経済、勝てる日本へ

### 1 産業の革新と国際競争力の強化

自動運転・AI・半導体など先端技術の研究開発支援とサプライチェーン強化、地熱など日本に適した再エネ推進、国際標準化の主導、政府系ファンド創設による新たな財源確保を進めます。



## 豊橋・田原を成長のエンジンに、日本を動かす

### 2 持続可能でもうかる農林水産業の実現

スマート農業や農地の集約・集積、収入保険制度の改善、水産資源管理の徹底などを通じ、持続可能でもうかる農林水産業を実現します。



### 3 地域の成長を支えるインフラ整備

浜松湖西豊橋道路の早期実現や国道23号線の4車線化など道路・自転車道の整備、三河港のDX・GX対応インフラと臨港道路整備、高速通信網やスマートインフラの情報通信基盤整備を進めます。



## 命を守る、安心をつくる

### 4 防災・国土強靱化の推進

南海トラフ地震を想定し、インフラの耐震・耐災害化や早期警戒・情報発信システムの充実、防災拠点・避難施設の整備、地域防災力の強化と災害復旧・復興の迅速化を進めます。

### 5 安全保障戦略の推進

サイバー・宇宙領域を含む防衛力を強化し、日米同盟や日米韓に加え、日英欧、FOIP(自由で開かれたインド太平洋)、グローバルサウスとの連携を深化させます。



### 6 人口減少社会に対応した医療・介護・福祉改革

人口減少に対応し、テクノロジーの活用などにより人材不足や医療アクセス問題を解消しつつ効率化を進め、持続可能な医療・介護・福祉を実現。インフレ対応型の公定価格引上げによる賃上げを図ります。



## 暮らしを守り、未来を育てる

### 7 物価高に負けない安心の経済へ

物価高対策として、所得税の基礎控除をインフレ連動型へ見直し、適正な価格転嫁を実現します。自動車税体系の抜本的改革を進めます。

### 8 外国人施策の適正化と共生社会の推進

外国人の出入国管理と土地取得規制を徹底・強化し、日本語教育と文化・習慣教育の充実を図ります。



### 9 子育て・教育・文化の支援と人材育成強化

プッシュ型子育て支援やデジタル・AIによる書かない・行かない窓口の推進、24時間365日の相談支援体制の構築を推進します。モータースポーツ振興と自動車文化の推進、STEAM教育の充実や高度専門・デジタル人材の育成を進めます。



## 憲法に責任を、政治に信頼を

### 10 憲法改正の推進と政治への信頼回復

緊急事態条項の創設や自衛隊明記など憲法改正の早期実現に取り組みます。「政治とカネ」の問題に決着をつけ、政治資金の透明性を高めて政治への信頼を回復します。

# JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ